

## 執筆者紹介

1. 氏名：遠藤 司 (えんどう つかさ) Tsukasa ENDO, Ph.D.  
学歴：1986年 東京大学教育学部教育心理学科卒業  
1988年 東京大学大学院教育学研究科修士課程修了  
1993年 東京大学大学院教育学研究科博士課程満期退学  
現職 駒澤大学総合教育研究部教職課程部門教授 (教育学博士)  
研究テーマ：障害の重い子どもの教育方法、授業者の成長のとらえ方の研究  
主要業績：2006年・『重障児の身体と世界』風間書房 (博士学位請求論文を補筆・修正したもの)  
2010年・『実感から関係化へ—ある重度重複障害者と関わって—』春風社  
2011年・『「身体」をテーマとして重障児と関わることの意味』(『質的心理学フォーラム』Vol. 3 pp.35-42)  
2012年・「言葉を作り書くことの意味—ある一人の重障者との関わりに学ぶ—」(『駒澤大学教育学研究論集』第28号 pp.49-87)  
2013年・『「はじめての言葉」に関する一考察—『コミュニケーションの原理』から『言葉』に至る過程について考える』(『学ぶと教えるの現象学研究十五』pp.45-60)  
2014年・『「場所」から『言葉』へ—重度・重複障害者との関わりから学んだこと—』(『駒澤大学教育学研究論集』第30号 pp.81-135)
  
2. 氏名：福田 学 (ふくだ まなぶ) Manabu FUKUDA, Ph.D.  
学歴：1996年 慶應義塾大学文学部文学科仏文学専攻卒業  
1999年 慶應義塾大学教職特別課程修了  
2001年 東京大学大学院教育学研究科修士課程修了  
2007年 東京大学大学院教育学研究科博士課程修了 博士 (教育学)  
現在 新潟大学教育学部准教授  
研究テーマ：教育哲学  
主要業績：2009年・「教育研究における現象学的聴覚論の意義—イーデ『聞くことと声』に定位して—」『東京大学大学院教育学研究科紀要』48巻pp.277-286  
2010年・『フランス語初期学習者の経験解明—メルロ＝ポンティの言語論に基づく事例研究—』風間書房  
2011年・「ポランの道徳哲学に基づく教師－生徒関係の捉え直し—『学級崩壊』のなかでの授業展開をとおして—」『人間性心理学研究』28巻2号pp.151-163  
2013年・「サルトルと神経科学—『否定』を問題とする脳機能研究についての現象学的考察—」『学ぶと教えるの現象学研究』15巻pp.71-104  
・「現象学的存在論に基づく『語信念課題』の再解釈—『心』の発達における『否定』の意味—」『新潟大学教育学部研究紀要人文・社会科学編』6巻1号pp.17-36  
2015年・「模倣をめぐる科学と哲学の架け橋—ミラーニューロン説から後期メルロ＝ポンティへ—」『理想 第694号：特集 教育・臨床・哲学のアクチュアリティ』理想社 (2015年2月刊行予定)

3. 氏 名： 井 谷 信 彦 (いたに のぶひこ) Nobuhiko ITANI, Ph.D.

学 歴： 2003年 京都大学教育学部教育科学科卒業

2005年 京都大学大学院教育学研究科修士課程修了

2008年 京都大学大学院教育学研究科博士後期課程 研究指導認定退学

現 在 武庫川女子大学文学部教育学科講師 (博士 教育学)

研究テーマ：教えること／学ぶことの即興性、現象学を方法とする教育理論、ボルノウの教育思想

主要業績： 2013年・「タクトの啓発と「ありうること」への開放：ヴァン＝マーネンの省察理論と意味生成の沃野」『教育学研究論集』第8号

2013年・『存在論と宙吊りの教育学：ボルノウ教育学再考』京都大学学術出版会

2013年・「問いの螺旋へ：教育哲学者の語りの作法」『教育哲学研究』第108号

2015年・『ワークで学ぶ教育学』（共著）ナカニシヤ出版（3月刊行予定）

2015年・「風景芸術と教育の「再生」：建てること、住まうこと、制作すること」『理想 第694号：特集 教育・臨床・哲学のアクチュアリティ』理想社（2月刊行予定）

4. 氏 名： 奥 井 遼 (おくい はるか) Haruka OKUI, Ph.D.

学 歴： 2007年 京都大学総合人間学部卒業

2009年 京都大学大学院人間・環境学研究科修士課程修了

2012年 京都大学大学院教育学研究科博士課程研究指導認定退学

2014年 教育学博士

現 職 京都大学こころの未来研究センター上廣こころ学研究部門特定研究員

研究テーマ：臨床教育学、教育人間学、現象学的身体論

主要業績： 2011年・「メルロ＝ポンティにおける『間身体性』の教育学的意義—『身体教育』再考—」『京都大学大学院教育学研究科紀要』第57号 pp. 111-124.

2012年・「『沈黙の声』にみる身体的志向性—わざ研究へのメルロ＝ポンティ現象学からの接近—」『京都大学大学院教育学研究科紀要』第58号 pp. 183-193.

2013年・「身体化された行為者 (embodied agent) としての学び手—メルロ＝ポンティにおける『身体』概念を手がかりとした学び—」『教育哲学研究』第107号 pp.60-78.

・「Subject, Language and Body: Merleau-Ponty's Phenomenology in Educational Studies」『Record of Clinical-Philosophical Pedagogy』第12号 pp.58-62.

・「身ぶりと言葉による『学び』—人形遣いのわざ習得場面における行為空間の記述—」『ホリスティック教育研究』第16号 pp.69-82.

・「苔の行、あるいは身心変容技法—羽黒修験・秋の峰に関する身体論的考察—」『身心変容技法研究』第2号 pp.123-131.

2015年・『わざを生きる身体—人形遣いと稽古の臨床教育学—』ミネルヴァ書房（3月刊行予定）

5. 氏 名： 小 澤 豊 (おざわ ゆたか) Yutaka OZAWA, M.A.  
 学 歴： 1999年 東北大学教育学部学校教育学科卒業  
 2002年 東北大学大学院教育学研究科修士課程修了  
 職 歴： 2002年 法務教官として東北少年院（仙台市）に採用  
 以後、仙台入国管理局、青葉女子学園の勤務を経て、  
 現 在 法務事務官統括矯正処遇官（処遇担当）として福島刑務所に勤務  
 研究テーマ：矯正教育の人間学的研究  
 主要業績： 2005年・「教育実践報告 被害者を感じる矯正教育の在り方について」『教育思想』32号  
 pp.101-106  
 2007年・「第三者に立つ矯正教育」『リフレクション 臨床教育人間学2』
6. 氏 名： ロジャー・E・ブルームRodger E. BROOMÉ, Ph.D.  
 学 歴： 2003年 A.A.S. Fire Science: Company Officer, Utah Valley University  
 2006年 A.A.S Criminal Justice, Salt Lake Community College  
 2006年 B.S. Behavioral Science - Psychology, Utah Valley University  
 2008年 M.A. Psychology, Saybrook University  
 2012年 Ph.D. Psychology, Saybrook University (心理学博士 セイブルック大学)  
 現 在 Assistant Professor Utah Valley University (ユタ・ヴァレー大学准教授)  
 職 歴： 1989年－2010年 A police officer and fire battalion chief/EMT from West Jordan, Utah  
 (ユタ州ウエスト・ジョーダンの警察官・消防隊長・緊急医療技師)  
 1998年－2000年 A police reserve from South Salt Lake, Utah (ユタ州南ソルト・レイ  
 クの警察予備隊員)  
 2010年－現 在 A police reserve from Woods Cross, Utah (ユタ州ウッズ・クロスの警  
 察予備隊員)  
 研究テーマ：警察と消防の現象学、緊急隊員の訓練とケア  
 主要業績： 2011年・“An Empathic Psychological Perspective of Police Deadly Force Training”  
*Journal of Phenomenological Psychology* 42 pp.63-108  
 2013年・“A Phenomenological Psychological Study of the Police Officer’s Lived  
 Experience of the Use of Deadly Force” *Journal of Humanistic Psychology* X X  
 (X) pp.1-24  
 2013年・“The lived-Experience of Leading a Successful Police Vehicle Pursuit : A  
 Descriptive Phenomenological Psychological Inquiry” *Journal of Phenomenological  
 Psychology* 44 pp.220-243  
 2014年・“Mind-Body Integrative Training : Firefighter Personal Protective Equipment  
 (PPE)” *International Journal of Fire Service Leadership and Management* 8, pp.61-67  
 ・“Book Review: Policing and the Poetics of Everyday Life” *Journal of  
 Phenomenological Psychology* 45 (1), pp.93-109

7. 氏名：田端 健人 (たばた たけと) Taketo TABATA, Ph.D.  
 学歴：1992年 東京大学教育学部学校教育学科卒業  
 1994年 東京大学大学院教育学研究科修士課程修了  
 1999年 東京大学大学院教育学研究科博士課程修了 (教育学博士)  
 現在 宮城教育大学教育学部教授  
 研究テーマ：教育実践研究、災害と学校の研究、現象学的方法に関する研究  
 主要業績：2010年・「子どもの討論を喚起する武田常夫の国語の授業—ハイデガーの芸術論を導きとして—」中田基昭編著『現象学から探る豊かな授業』多賀出版pp.63-108  
 2012年・『『遊びの高度化』としての島小実践—ホイジンを導きとして—』横須賀薫編『斎藤喜博研究の現在』春風社pp.299-355  
 2012年・『学校を災害が襲うとき—教師たちの3・11—』春秋社  
 2013年・「子どものケアと学校教育—〈空気〉と〈光〉の現象学—」西平直編著『ケアと人間』ミネルヴァ書房pp.165-186  
 2015年・「故郷喪失時代のまちと学校—ハンナ・アーレント『教育の現象学』から—」『理想 第694号：特集 教育・臨床・哲学のアクチュアリティ』理想社 (2015年2月刊行予定)

8. 氏名：吉田 章宏 (よしだ あきひろ) Akihiro YOSHIDA, Ph.D.  
 学歴：1960年 東京大学教育学部教育心理学科卒業  
 1967年 米国イリノイ州立大学大学院博士課程修了Ph.D.の学位取得  
 職歴：米国イリノイ大学研究助手、コーネル大学研究員、お茶の水女子大学助教授、東京大学助教授および教授、岩手大学教授、川村学園女子大学教授、淑徳大学特任教授  
 研究テーマ：現象学的心理学、教育/授業の心理、人間研究方法論、子ども/高齢者の心理、発問、など。  
 主要業績：2004年・「発問の芸術にみる開放性：ある達人教師による実践の現象学的解明」『淑徳大学大学院社会学研究科研究紀要』第11号, 1-34  
 2005年・『『説明』を誘う発問と『理解』を誘う発問—ある達人教師の授業実践における発問芸術の現象学的解明—』『淑徳大学大学院社会学研究科研究紀要』第12号, 39-82  
 2013年・翻訳『心理学における現象学的アプローチ：理論・歴史・方法・実践』アメデオ・ジオルジ著、吉田章宏訳、新曜社 287pp  
 Aki's Homepage Address : <http://yoshidaakihiro.jimdo.com/>

YOSHIDA, Akihiro (2006) On Tamamushi-iro Expression: A Phenomenological Explication of Tamamushi-iro-no (Intendedly Ambiguous) Expressive Acts. *Essais de psychologie phenomenologique-existentielle : reunis en hommage au professeur Bernd Jager*. Cirp 300-335

YOSHIDA, Akihiro (2010) Living with Multiple Psychologies. In Michael Barber, Lester Embree, and Thomas J. Nenon ed. *Phenomenology 2010. Volume 5, Selected Essays from North America: Phenomenology beyond Philosophy*, Zeta Books, Bucharest, Chap. 37, 325-349

YOSHIDA, Akihiro (2010) A Phenomenological Explication of a Master Teacher's Questioning Practices and its Implications for the Explanation/Understanding issue in Psychology as a Human Science. Thomas F. Cloonan & Christian Thiboutot ed. *The redirection of psychology; Essays in honor of Amedeo P. Giorgi*. Cirp (Interdisciplinary Circle of Phenomenological Research) University of Quebec in Montreal & Rimouski, 279-297